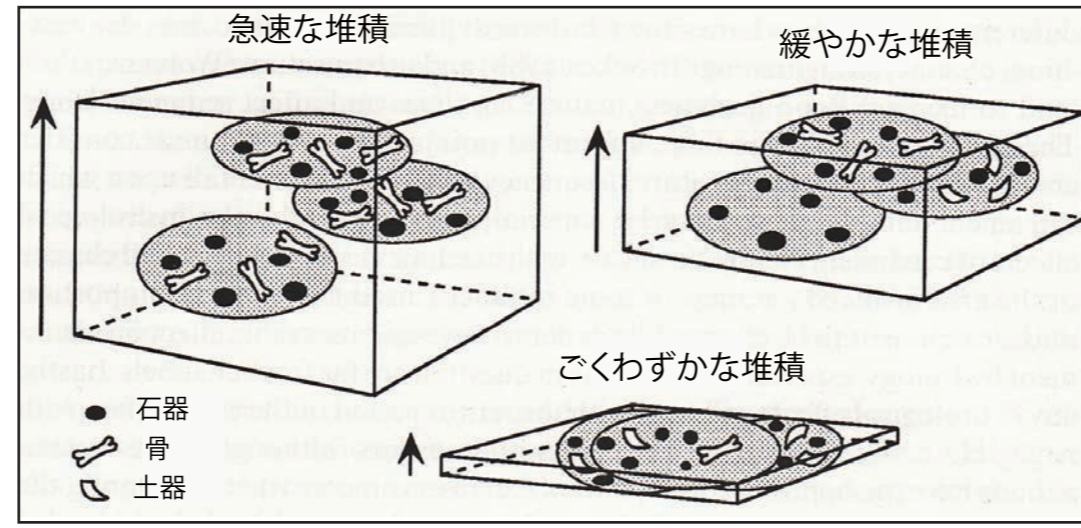


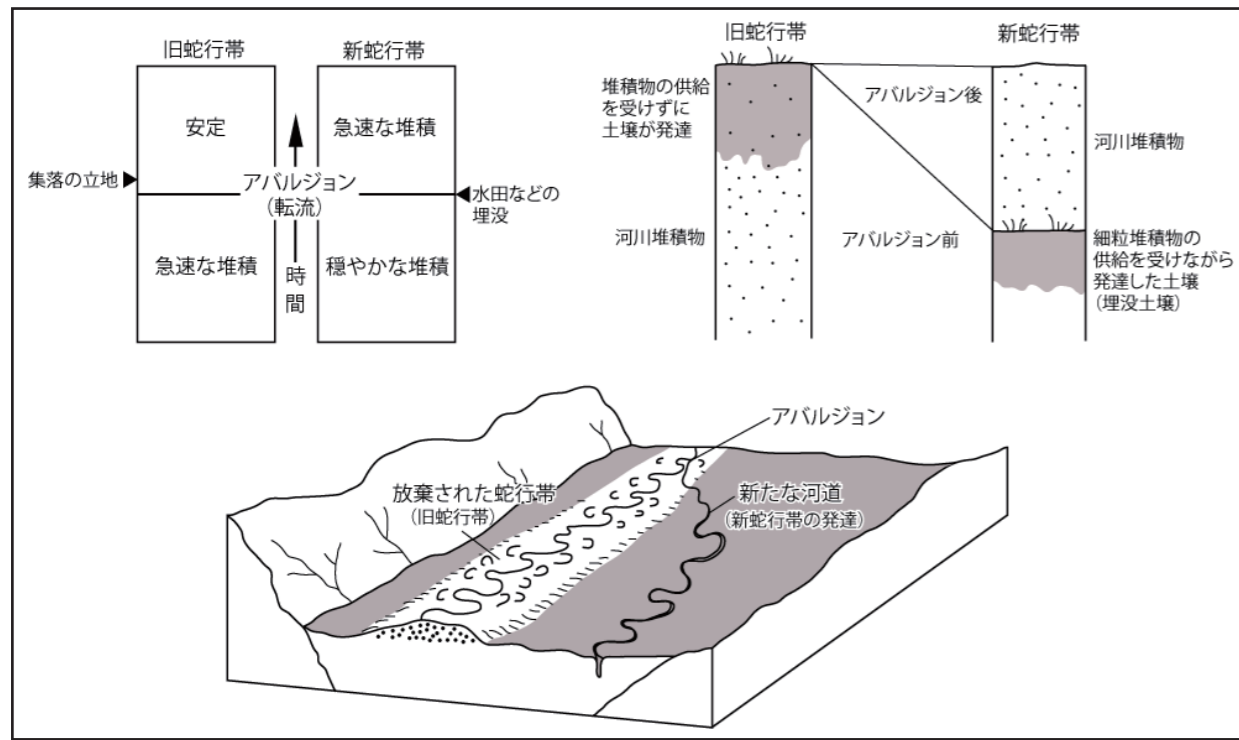
洪水堆積層と土壌層の違い



遺物の包含状況と洪水堆積速度の関係



2 旧河道推定ライン 河原口坊中遺跡1次1分冊より引用  
河原口坊中遺跡で検出された旧河道の位置



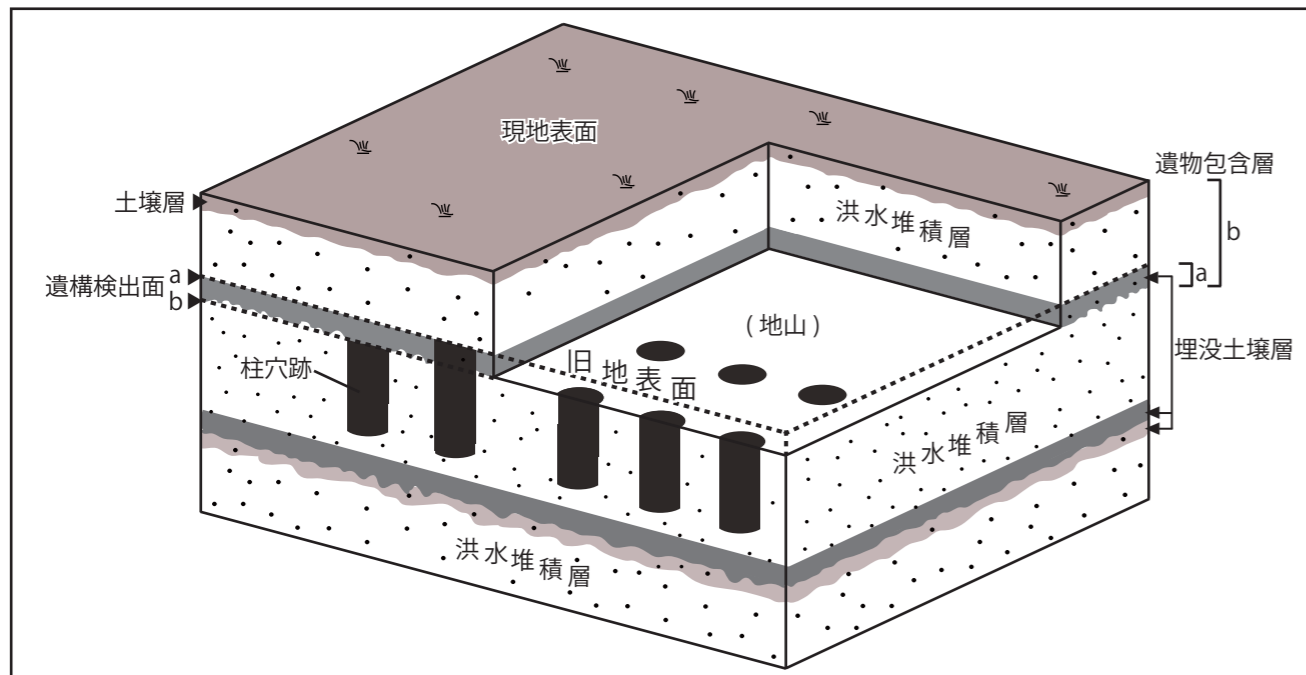
河川の転流 (アバレジョン) と洪水堆積速度の変化



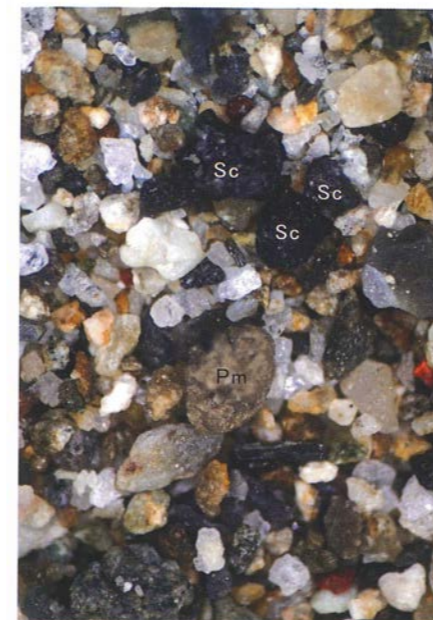
平成27年9月 鬼怒川決壊の際に形成された破堤堆積地形 (クレバスプレー)



2 1号旧河道東西セクション下層 (南から)  
河原口坊中遺跡2次5分冊より引用  
河原口坊中遺跡で検出された旧河道の断面



遺跡層序の理解のための概念図



1.F-Hoのスコリアと軽石(KAT2P2南壁1層:13)  
跡堀遺跡IIより引用  
1707年富士山永噴火起源の堆積物

**富士山の主な噴火**

781年	噴火	山麓に降灰、木の葉が枯れる
800~802年	延暦噴火	碎石が足柄路をふさぐ
864~866年	貞観噴火	溶岩流が本栖湖などに流れ込む
937年	噴火	溶岩流が湖を埋めた
999年	噴火	噴火
1033年	噴火	溶岩流が山麓に達する
1083年	噴火	爆発的な噴火
1435年	噴火	富士山に炎が見える
1511年	噴火	河口湖付近で異様な鳴動
1707年	宝永噴火	地震の49日後から2週間爆発的な噴火